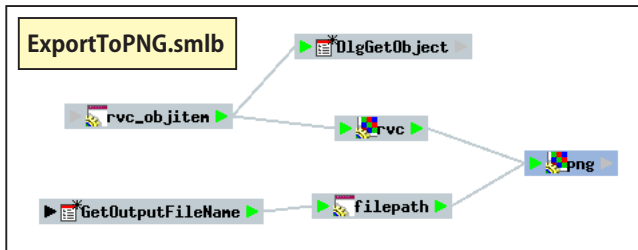
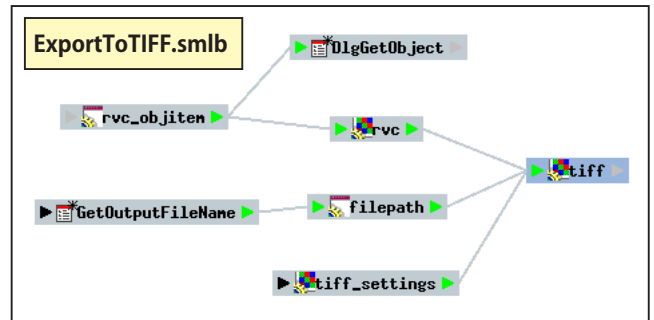


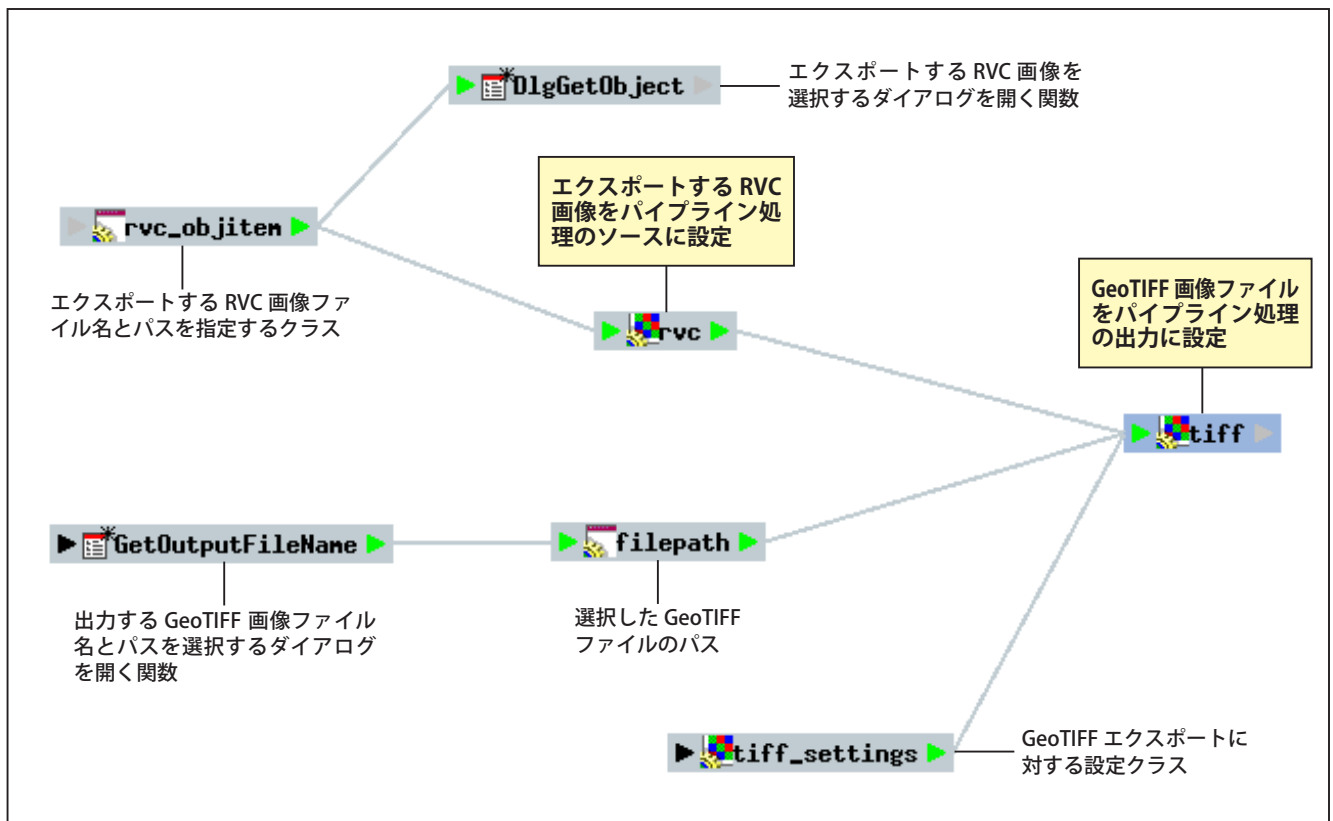
画像のエクスポート



プロジェクトファイル内のラスタ画像を PNG ファイルと補助的なジオリファレンスファイルにエクスポートするスクリプトビルダーの例。このたいへんシンプルな例を修正して、簡単に別のフォーマットのエクスポートに利用できます (右図)。



プロジェクトファイル内のラスタ画像を GeoTIFF ファイルにエクスポートするスクリプトビルダーの例。



TNTmips のスクリプトビルダーを使えば、プロジェクトファイルの画像を PNG や GeoTIFF などの外部画像フォーマットにエクスポートするスクリプトを簡単に書くことができます。一度基本的な書き方を習得すれば、違うフォーマットにエクスポートするように書き換えるのは簡単です。ここに示す 2 件のスクリプト例では、画像を PNG ファイル (ジオリファレンスの補助ファイル付き) と GeoTIFF へエクスポートしています。例ではモジュール型の SML 画像パイプライン処理を使って画像変

換を行っています。PNG 変換への全ての設定は PNG パイプライン出力クラスを使って直接処理されます。GeoTIFF や GeoJP2 のような画像フォーマットには多くの設定オプションがあります。それらのオプションは別の設定クラスを使って指定します。

これらのスクリプトビルダーに手を加えて、パイプラインフィルタのような追加の画像操作を簡単に挿入することができます。これらのサンプルビルダーファイルによって自動生成されるコードを次ページに掲載します。

(次ページに続く)

多くのサンプルスクリプトやスクリプトビルダーファイルが用意されており、スクリプトやクエリーで TNT 製品のスクリプト言語の機能をどのように利用したらよいか解説されています。これらのスクリプトやビルダーファイルは TNTmips と一緒に配布されており、www.microimages.com/downloads/scripts.htm からダウンロード可能です。

前ページのビルダー「ExportToPNG.smlb」で生成されるコード

```
numeric err = 0;
### rvc_objitem ###
class RVC_OBJITEM rvc_objitem;

### DlgGetObject ###
err = DlgGetObject("Choose input image:", "Raster", rvc_objitem);

### rvc ###
class IMAGE_PIPELINE_SOURCE_RVC rvc(rvc_objitem);
err = rvc.Initialize();

### GetOutputFileName ###
string str_1 = GetOutputFileName("c:/temp", "Choose output TIFF
filename", "*.tif");

### filepath ###
class FILEPATH filepath(str_1);

### png ###
class IMAGE_PIPELINE_TARGET_PNG png(rvc, filepath);
err = png.Initialize();
err = png.Process();
```

前ページのビルダー「ExportToTIFF.smlb」で生成されるコード

```
numeric err = 0;
### rvc_objitem ###
class RVC_OBJITEM rvc_objitem;

### DlgGetObject ###
err = DlgGetObject("Choose input image:", "Raster", rvc_objitem);

### rvc ###
class IMAGE_PIPELINE_SOURCE_RVC rvc(rvc_objitem);
err = rvc.Initialize();

### GetOutputFileName ###
string str_1 = GetOutputFileName("c:/temp", "Choose output TIFF
filename", "*.tif");

### filepath ###
class FILEPATH filepath(str_1);

### tiff_settings ###
class IMAGE_PIPELINE_TARGET_TIFF_SETTINGS tiff_settings;
tiff_settings.SetCompression("LZW");

### tiff ###
class IMAGE_PIPELINE_TARGET_TIFF tiff(rvc, filepath);
err = tiff.Initialize();
err = tiff.Process();
tiff.SetParms(tiff_settings);
```